

富山県知事
新田 八朗 様

社会民主党富山県連合
代表 島村 進



コロナ感染症の急激な拡大に対応した

緊急対策の実施についての要請

日夜富山県民の福祉の向上にご尽力頂いております事に感謝申し上げます。

さて、オリンピック以降の感染者の増大は全国的に極めて危険な水準に達しています。富山県においてもお盆以降飛躍的な感染拡大が続き、連日100人を超える感染者の確認が続いています。

新田知事は8月6日の記者会見で、「県の原則入院の方針は変わらない。」との考え方を示されましたが、その後の爆発的な感染拡大を踏まえ8月21日には、「軽症や無症状者の宿泊療養施設への受け入れが困難になりつつある」とし、「軽症以下の患者は、今後自宅療養になる可能性がある」との見解を示されました。

他県の実態ではありますが、千葉県などでは自宅療養の感染者の死亡が相次いでおります。特にデルタ株の蔓延により、症状の急激な悪化の事例が相次いでおり自宅療養の危険性は専門家の間でも大きな課題として指摘されています。コロナとの戦いにおいて、「誰一人見捨てない」という姿勢と、コロナ感染症に対し県民の治療に万全を期すとの基本姿勢を貫いて頂きたい。

8月22日、西村経済再生担当相は「新型コロナウイルスの感染者急増を巡り、体育館など広い場所を臨時の医療施設として整備したり、酸素投与が必要な患者に自宅で酸素濃縮器を使ってもらったりする対策について必要になっているので、自治体と連携し対応を急ぎたい」と発言しています。コロナ感染症に対しては、PCR検査の徹底による感染者の把握と隔離、重症化を防ぐ治療の実施と共に重症患者への適切な治療の保証が不可欠と考えます。そこで、富山県として緊急に「臨時医療施設の整備」について検討されるよう、強く要請いたします。できれば、感染者の増加状況に対応し、医療圏毎に「臨時医療施設」を整備し、該当医師会とも連携しながら必要な医療の提供ができるよう万全の体制を整えて頂きたい、緊急に要請いたします。

記

1. コロナ感染症の爆発的拡大に対応し、「臨時医療施設の整備」を行い、感染者の治療に万全を期されたい。
2. 感染者の増加傾向に応じ、できれば医療圏毎に臨時病床を設置し、医師会とも連携しながら「一人も見捨てない」医療体制の整備と確立を図られたい。
3. 障がい者やその家族、妊産婦、基礎疾患や持病ある人、一人暮らし高齢者など、健康や生活上のリスクの高い人への適切な配慮を行うこと。
4. 感染抑制のためにもPCR検査等を徹底すること。またワクチンの確保と若年者を含めた早急な接種体制の拡充を図られたい。

以上、緊急に要請いたします。なお、ご回答は文書にてお願い致します。